

第 306 回 東京歯科大学学会・総会 演題応募および抄録記載方法のご案内(必読)

会 期:平成 30 年 10 月 20 日(土), 21 日(日) 於 東京歯科大学水道橋校舎 新館
演題応募期限:平成 30 年 8 月 10 日(金) 正午(時間厳守)

○発表者は、共同発表者も含めて本学会会員に限ります。

○東京歯科大学学会は独立した学会ですので、他の学会で発表した抄録をそのまま記載することはお控えください。
(歯科学報に掲載されますので、著作権問題なども生じます。)

○動物での研究では、各施設の動物実験委員会の承認を得ている必要があります。ヒトでの研究では、研究課題によっては厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、各施設の倫理審査委員会の承認を得ている必要があります。

症例報告は倫理審査委員会の承認を必要としませんが、患者の同意書を必要とします。ご本人が未成年者など、代諾が必要な場合は親権者お二人(父母)の承諾が必要です。

企業等と研究活動を行った場合、利益相反委員会の審査が必要となります。

※不備がある場合には、査読の対象となりませんので十分ご注意願います。

○症例報告の記載例については、下記をご参照ください。

- ・目的では、症例の歯科臨床における位置づけや特徴に触れ、抽出された問題点を述べ、その症例がなぜ報告に値するのかを明確に述べてください。
- ・症例では、診察・検査所見、診断と治療方針、治療やその経過などについて具体的かつ簡潔に文章で記述してください。
- ・成績および考察では、その症例の治療や経過の特徴について、臨床的な位置づけについて言及してください。

〔 例 〕

目 的:重度歯周炎患者に〇〇を応用し、歯周組織の再生が試みられている。本症例では、××を用いて治療時に併用することで、歯周組織の再生が促進された症例を報告する。

症 例:患者は〇〇歳男性で歯肉腫脹と歯の動揺を主訴に来院した。歯周組織検査では・・・であった。下顎第一大臼歯に△△病変が認められ、エックス線画像所見で垂直性骨欠損を認めたため、◆◆と診断した。歯周基本治療したのち、××を併用して□□を行った。

成績および考察:××を併用したところ、▲週間で骨欠損部に骨の再生が確認され、歯槽骨の改善が認められた××を併用することで・・・の排除に寄与し、骨量の改善が促進されたと考えられる。

(口語体(です、ます調)ではなく、文語体(である調)で記載し、個人の感想(“思った”などの表現)は記載されないようお願いいたします。)

○発表形式には、口頭発表とポスター発表があります。口頭発表は、8分または15分口演のいずれかです。ポスター発表は、はじめに内容を4分間で発表して頂きます。応募数に制限はありませんが、応募多数の場合、演題採択はプログラム委員会にご一任くださいますようお願い致します。

○口頭発表に関しては、PCプロジェクター(単写のみ)での発表となります。その他の発表形式を希望される方は、学会事務局(内線:9279)までお問い合わせください。

○演題申込は、オンライン登録のみとします。学会のホームページ

(<http://www.tdc.ac.jp/college/activity/tabid/124/Default.aspx>)に登録フォームがございますので、それに従って必要事

項を入力してください。

1.登録方法について

◇学会ホームページに「演題登録マニュアル」、「レイアウト参考資料」、「東京歯科大学学会大会にご参加される皆様へ」がございます。

ご一読の上、必要書類をご準備頂き演題登録を開始してください。

2.抄録について

◇登録マニュアルに記載しておりますが、字数は 800 字～1,000 字 をお願い致します(登録の際、“TDC”は3文字で換算されます)。記述形式は下記の2種類が基本となります。

◎タイプA-1) 目的、方法、結果、考察

◎タイプA-2) 目的、方法、結果および考察

◎タイプB) 目的、症例、成績および考察

◇英語での抄録掲載を希望される場合には、演題登録前に学会事務局にご連絡の上、300 ワード以内での抄録を作成してください。

◇歯式、外字、機種依存文字等を入力される方は、学会事務局までご連絡ください。

◇事前抄録は、初校のみ校正していただきプログラムと歯科学報に掲載されます。

3.口頭発表について

◇口頭発表の方は 10 月 15 日(月)9 時 00 分から 10 月 17 日(水)12 時 00 分【厳守】までに、Microsoft PowerPoint®で作成した発表用ファイルを記憶媒体(CD-R、USB 等)にて学会事務局に持参のうえ学会備付の発表用 PC にデータを保存してください。

ファイルサイズは20MB以下になるように作成してください。

なお、ファイル保存時に学会発表用PCにて動作確認を必ず行ってください。万が一、ご本人の都合が悪い場合には代理の方でも受付けますが、その際も代理の方が必ず動作確認を行ってください。

◇期日・時間厳守でのご提出をお願い申し上げます。